

けられたものである。フローは普通列車の走行その他に支障がないが、はなはだしくなれば頭部が全体として変形する場合もある。(山本 浩)

フロリダ・イースト・コーストつどう フロリダ・イースト・コースト鉄道 (米) Florida East Coast Railway Company
1級鉄道, 営業キロ 919 km, 本社所在地 St. Augustine, Florida, U. S. A.

スタンダード石油の資本家ヘンリー・M・フラグラーがジャクソンヴィル・セントオーガスチン・ハリファックス・リヴァー鉄道を買収して創設した鉄道である。数年後さらにパラッカおよびデイトナ・ビーチを結ぶその地方の小線を買収した。

1892年以後南部の処女地に向って鉄道建設が進められ、1894年にウェスト・パーム・ビーチに達し、1896年にはマイアミに達した。1905年フラグラーはフロリダ・キー列島伝いにキー・ウェストまで鉄道建設の冒険的工事を開始し、1912年にこれを完成した。1935年の暴風雨によって破かいされるまで営業されていたが、その後は自動車道路に改造されフロリダ市からキー・ウェストまで通じている。

1924年ないし26年の間に大部分の線路は複線化され、その他の線路にも改良が加えられた。1900年まで蒸気機関車は燃料に薪を使用していたが、その後は石炭を使用するようになり、1915年以後は油たき機関車が採用された。ディーゼル電気機関車は1939年に初めて購入されたが、現在はほとんど全部ディーゼル化されている。1942年本線はすべてが新しい重量軌条に更換された。本線はフォークストンからジャクソンヴィル、セントオーガスチンを経てフロリダの大西洋岸にそいながら南下してマイアミに通じている。

1955 暦年度の営業成績

営業収入	34,273,095	ドル
営業費	25,422,721	"
営業係数	74.18	%
貨物輸送トン数	6,282,142	t
平均輸送キロ	281.43	km
旅客輸送人員	640,908	人
平均乗車キロ	427.82	km

貨物輸送トン数のうち農産物は23.7%、鉱産物は26.4%、工業製品および雑品類は36.6%を占めている。

1955年末現在線路キロ数、車両数および従業員数(年間1日平均)

線 路

総営業キロ	919	km
自社所有線路総営業キロ	911	"
総軌道延長	2,003	"
自社所有軌道延長	1,987	"

車 両

蒸気機関車	7	両
ディーゼル電気機関車	100	"
貨 車	515	"
客 車	186	"
事業用車両	215	"
従業員数	3,741	人

参考文献 Henry Sampson 編 World Railways 1954-55. Tothill Press Ltd. 発行 Directory of Railway Officials and Year Book 1953-54. Interstate Commerce Commission 編 Transport Statistics in the United States, 1955.

(光延春三)

ぶんかいえき 分界駅 支社または鉄道管理局の分界地点は、おおむね駅間の中間になっているが、分界駅は分界点付近の駅であって、べつに指定したものをいう。分界駅は甲地域から乙地域に移動した貨車の、出入関係を報告するのがおもな任務であるので、なるべく組立駅を選択してこれを指定する。

分界駅は支社管区分界駅と鉄道管理局分界駅の2種に分けられており、前者は支社相互間の、後者は鉄道管理局相互間の貨車の出入報告を取扱うものである。本社営業局・支社および鉄道管理局は、この分界駅の報告によって貨車の出入差を計算し、貨車の地区的な流動を知り、状況に適応した手配を講じて、貨車運用の調整に当たっているものである。(平井隆三)

ぶんかいえきていりかしゅ 分界駅出入貨車 国鉄はいくつかの支社または鉄道管理局に区分管理されている。この管理区域の境界に*分界駅を指定している。この分界駅を經由して他の管内との間に入出た貨車を分界駅出入貨車という。分界駅出入貨車は、1つの区域から他の区域にどのような種類の貨車がどれくらい移動し、総数でいくら通過したかを調査し、貨車の移動状態をは握するのが目的である。分界駅出入車数によって、当日の区域別の貨車現在数の増減を推測することができるわけで、基準現在車あるいは前日の現在車に当日の分界駅出入車数を加減して、当日報告の現在車数の正否を検査することができる。分界駅出入貨車数は平常の場合、出と入の均衡がとられることが貨車運用上からも、列車の経済運転の見地からも望ましいことであり、その車種の移動についても上下均衡を保つことが理想的である。そこで分界駅において日々「分界駅出入貨車数報告」を調査して、出と入りについて、積車・空車別に、さらにこれをそれぞれおもな車種別に明かにしている。全国の主要分界駅の積車の出入状況を検査することによって、物資の流動状況を推測し、その車種別の出入差によって移動車種の調整をする必要があるときは、必要な車種の空車回送によって調整を行うものである。出入車数の増減によって、定期・不定期または臨時貨物列車の休止または運転の手配を講じ、またその出入実績を検査して将来の列車設定の資料ともする。(平井隆三)

ぶんかいひょう 分解表 組立駅において貨物列車を分解す

分解数	記号	線名	車数	月日
1				列車分解表
2				
3				
4				
5				
6				
~~~~~				
21				自時分解表
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				現車合計
35				
36				
37				
38				
39				
40				